

都道府県が実施した調査の結果

2006年7月20日現在

全国保険医団体連合会

2005年10月より実施された居住費・食費自己負担化による影響調査のうち、都道府県が実施した調査結果は、次の通り。

印は退所者の属性を示す。

資料頁	都道府県名	調査対象期間	退所者(人)	回答率
	宮城県	05・10～06・2	152	100.0%
		「退所のうち自己負担増加を理由とする者」		
	山形県	05・10～06・3	57	100.0%
		「経済的理由による退所者」		
	埼玉県	05・10～12	82	88.7%
		「経済的理由によると思われる退所者数」		
	長野県	05・10～12	37	不明
		「自己負担の増額に耐えかねて退所した者」		
	三重県	05・10～06・3	116	85.9%
		「食費及び居住費の自己負担増の影響を受けての退所者数」		
	京都府	05・10～11	27	不明
		「利用者等の負担が困難でやむなく退所となった者」		
	島根県	05・10～06・1	38	93.1%
		「ホテルコスト負担増を理由とした退所者数」		
	岡山県	05・10～06・3	36	不明
		「経済的負担増を理由に退所した者」		

退所者数合計 545人

次頁以降(19頁まで)に、調査結果一覧及び8府県がまとめた調査結果を添付します。